

令和元年度 久米島西中学校 学校評価 【成果と課題、3学期・次年度に向けて】

1. 学校評価から見えてくる成果

- 学習規律（学習用具の準備、机上の整理等）や身だしなみを整える意識が高まっています。家庭でも「早寝・早起き、朝ご飯」にしっかり取り組んでいます。
（生徒1・23、教職員10、保護者25）
- 生徒の悩みや問題についての対応は1学期と同様、概ね適切に行われていると考えられ、継続して迅速かつ適切な生徒指導に努めていきたいと思えます。
（生徒11、保護者12、教職員43～46）
- キャリア教育では、総合的な学習の時間を中心に、教科の授業等でも将来のことについて考える機会が設定され、家庭でも将来の事について話し合うことが増えています。次年度からはキャリアパスポート等を導入し、自己の変化や成長を振り返らせたいと思えます。（生徒13・15、保護者18・19、教職員30・31、35～37）
- 命の大切さや社会のルールを守る等の豊かな心の育成については、生徒は学ぶ機会が多く、保護者・職員とも積極的に取り組んでいます。
（生徒16・20、保護者14・15・28、職員26・27）

2. 学校評価から見えてくる課題

- 学習面において「姿勢良く（立腰）」「分かるまで話を聞き」「自分の考えをまとめたり、発表したりすること」が依然として課題です。授業改善を図るとともに、根気強い指導を行っていききたいと思えます。（生徒2～4、教職員11・14・16・59・60）
- 家庭学習、学習の習慣化については依然として課題です。取り組んでいない一部の生徒の習慣化を図るとともに、授業の内容理解・定着を図る宿題（課題）の在り方、また補習等について検討、実施し、基礎学力の定着を図る必要があります。
（生徒7・22、保護者9）
- 自発的なあいさつに課題があります。「先生は悩みや相談に親身になって応じてくれる」と（生徒9）、「学校は楽しい」（生徒14）と回答した生徒が1学期より若干減少しており、生徒の状況把握に努めるとともに、生徒の主体的な活動の充実を図る必要があります。（職員34）
- 読書については、生徒、保護者ともに評価が低く、継続課題となっています。

3. 3学期、次年度に向けて

- (1) 生徒指導、学習指導における共通実践事項を継続、徹底を図ります。
- (2) 「ファシリテーション」を取り入れた授業実践を振り返り、より効果的な実践を行います。
- (3) 生徒の到達度を見取り、家庭学習、補習等の充実を図りたいと考えています。学習習慣の形成を図るための取組を検討し、実施します。
- (4) 生徒が主体的に活動に取り組む学級・生徒会活動、学校行事の充実を図ります。
- (5) 読書の習慣化を図る取組（授業と連動した調べ学習、朝の読書等）の充実を図ります。